

## 麻生区区民会議 第8回専門部会 市民活動・絆づくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成29年7月27日（木）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第2会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 植木昌昭委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、  
鈴木隆広委員（部会長）、関根秀勝委員、高橋慶子委員（副部会長）、  
松田通委員  
（欠席）緒方保委員  
[事務局] 企画課 福島係長、榎本 [コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：1名

### 5 議 題：

#### 1. 企画部会からの報告について

- ・部会長より、企画部会での審議内容について報告した。

#### 2. 調査・審議課題の検討について

##### (1) 前回の審議内容の振り返り

- ・『市民活動・絆づくり部会』における前回の審議内容を振り返った。

##### (2) 今後の検討内容について

###### 1) キックオフイベントの目的について

###### 【今後の方向性】

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・イベントに来てもらうだけで終わりではなく、市民活動・絆づくりについて知ってもらう、わかってもらう、参加しやすい身近なものであるということを知ってもらうことを目的とし、今後さらにコンセプトを深化させていくこととした。</li></ul> |
|--|

###### 【主な意見】

- ・イベントの目的は大きく言えば、活動に参加したことがない人に対する、市民活動に参加するためのきっかけ作りであるが、もっと委員間でコンセプトを固める必要がある。来てもらうだけでは困るので、意識付けまでを目的とする必要があるのではないか。
- ・キックオフイベントというからには、次の担い手に繋がるものである必要があると思う。とりあえずは来てもらう、知ってもらうがキックオフイベントの限界ではないか。また、イベントに参加することで、地域と繋がっていることの大切さを少しでも知ってもらうきっかけになれば良いのではないか。
- ・市民活動の楽しさを知ってもらうというコンセプトで、来てもらった人に知ってもらう、わかって

もらうことを目的としてはどうか。

- ・将来的に市民活動をやってもらえればと思うので、とりあえず知ってもらう、わかってもらうが大事だと思う。すぐに効果は出ないかもしれないが、将来的に市民活動をやりたいなと思えるような意識付けになればいい。
- ・来てもらった人の中に、市民活動に興味があり、すぐに活動したい人がいるのであれば、それに対応することもコンセプトに含めてよいのではないか。
- ・コンセプトとしては、楽しく感じてもらう、身近に思ってもらう、参加しやすいことをわかってもらう、やりがいを感じてもらおうというあたりではないか。

## 2) キックオフイベントの対象について

### 【今後の方向性】

- ・全世代対象ではあるが、主な対象としては、小学校低学年までの子どもを育てている子育て世代を対象として検討する意見が出された。

### 【主な意見】

- ・本来の対象が区民全体ということをおぼろげに忘れてはいけないと思うが、キックオフイベントの開催、検証という意味では対象を絞る方がよいのではないか。
- ・キックオフイベントの規模によっても対象が変わるのではないか。
- ・市民活動の担い手は平均年齢が高いため、キックオフイベントの目的を考えると年齢が低い層をターゲットにしてもよいのではないか。イベントとしても子育て世代に来てもらうと盛り上がると思う。
- ・子育て世代がイベントで経験してくれれば、年を重ねて市民活動に興味を抱いたときに、その経験が役に立つかもしれない。
- ・子育て世代を対象にすれば、シニア世代も子どもと触れ合う良い機会になるのではないか。
- ・最近の子育て世代は地域社会に興味を持っている方が多い。そのエネルギーが地域社会に向けられるきっかけとなるイベントになればよいのではないか。
- ・子どもが来るということは、子育てをしている親を引き込むチャンスである。親がゆくゆくは運営側に回ってくれればよいのでは。
- ・即時的な効果は求めず、忙しいお父さんに知ってもらう、意識を持ってもらうという種をまければ十分であり、落ち着いた時にその種から芽が出ればよいのではないか。
- ・イベントに親子で来るのは小学校低学年の子どもを持つ子育て世代までではないか。
- ・幼稚園や保育園に入るまでの子どもを育てているお母さん世代が一番地域との繋がりが少ない時期にあると思う。イベントで地域社会を感じてもらえればよいのではないか。

## 3) キックオフイベントの内容について

### 【今後の方向性】

- ・キックオフイベントに来てもらうための内容と、市民活動を知ってもらうための内容の二段構えとして考え、今後は具体的なイベント内容やプログラム、広報などを検討することとした。

### 【主な意見】

- ・小さな子どもがいる家族では、子どもが大きな声を出してしまうことがあるため、音楽イベントに行きづらい部分があると思うので、小さな子どもがいる家族でも参加できる音楽イベントをやってみてはどうか。
- ・音楽を聴くだけで帰られては困るので、地域活動を知ってもらうイベントも必要である。
- ・意見交換会やディスカッションのようなものをプログラムに入れてほしい。
- ・市民活動をやっている方に体験談を語ってもらうのも良いのではないか。
- ・来てもらう方によっては、音楽やダンス、マスコットの利用、区役所ツアー、囲碁や将棋教室なども考えられる。
- ・市民活動を身近に感じてもらうような内容にしてはどうか。
- ・来てもらうためのプログラム、知ってもらうためのプログラムという二つの方向性で検討すべきである。

### 3. その他

- ・次回（8月24日（木）午後3時）までに各委員は区役所4階スペースの利用を前提とした、来てもらうためのイベント、知ってもらうためのイベントを考えてくることとした。
- ・11月、12月の日程は別途調整のうえ決定することとした。

以 上